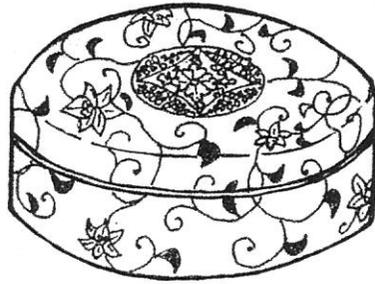


だら、主人はウチに帰りますと言って16日の夕方に帰って来
られたんですよ。たまたま私、娘さんの旦那さんが荷物を運
んでるところを見かけて、「どうしたんですか?」って聞いたら、今
日退院して来まして、あ、しゃられて、「あ、入院していら
したの?」って言ったら、「ええ、心臓で」って話だね。ペースメ
ーカを入るので、ちよと自宅に戻って、また手術するんで
すって…。じゃあ良い方向に向かっているんだねって言ったら、そ
うなんですよ。あ、良かったなアと思っただんです。で、次の日
の朝、7時に電話がひかって来まして、「さくねりまし
た」。えー、ですよ。朝には紅顔あって夕べには白骨
とされる身やね。びっくりしました。夜中に心筋梗塞
を起こしてらっしゃった。寝たまま。いつも明け方にトイレ
に行かれるんですが、起きて来なかった。奥さんが、お
かしいと思われたでしょう。で、見に行ったら、すでに息して
なまって言うんですよ。で、すぐに検死…と、いうことにな
りました。この前初命日で17日に行ってきたの。そとた
う悔やんでらっしゃってね。帰らなかつたら良かったんじゃない
かってさ。帰ったもんだからって。娘さんたちは、帰っても帰ら
なくても、きくと寝てる間に発作は起こったから…家で
さくねったんだからイイじゃない。イイじゃないって言うのはお
かしいけど、そうやってお母さんを慰める訳。でもお母さん
の方はね、帰って来たからかなアって思う訳ですよ。もし
かして病院で発作が起ってたり、きくと処置が早くて助か
ったかもしれないって話ですよ。いろんなことを心にちや
いますよ。でも事実が事実としてあるから。どうにもなら
ない。けれどもやっぱりそれを思ひずにおれな、私たちがいる

訳ですよ。まアさういふことですよ。さういふ身を生
きている訳ですよ。そしてさういふ気持ちになつて行く
訳です。私たちはね、白骨のお文にね、「まぼろしのジ
とくなる一期なり」って書いてある。生まれて来て、いつかは
分らないうけど、いのちを終えていくというこの人生が、
「まぼろしのジとく」と書いてあるね。生まれてね、生きて
死んで行くことはね、決してまぼろしじゃないですよ? 現
存在って書いてあるから。生きてある訳ですから。その
人が生まれて来たという事は、かけがえのないことです。
だけど、ここでは「まぼろし」って言ってます。このお文を
見た時、私はね、豊臣秀吉のうた(短歌)を思い出
しました。豊臣秀吉が亡くなっていく時に歌を歌った
言われているんですよ。本当な嘘か知りませんが、さうい
う風に言われている句があるんです。辞世の句、世を去る時
の…。「露と落ち露と消えにし我が身かな」って書
いてある。露とは何ですか? 朝露だね。ワ行目に
書いてあるんですよ。「おくれさきだつ人は、もとのし
づくすの露よりもしげしといえり」とね。露…朝露
ですよ。朝露って、いつのは、葉っぱに水が溜まると露
が下に落ちて消える訳です。と、いうことは私たちが、朝
の世に生を受けて生きて死んで行くという事は、朝
のようなものだ、という事でしょう。一瞬だつて、こ
しよう。ね、せいせい生きてもさ、何年? 100年? 100年
ですよ。人類の歴史からすれば、あつという間ですよ。
今、100歳って多いからね。金さん銀さんの時は400人くら

いったのだが、今は千方々五万人くらいいうしやる。皆、元氣な
 う良いけどね。そういう訳にはいかないね。露と落ち露
 と消えにし我が身かな」のあと……「浪速のことは夢のま
 た夢」と言っています。浪速って何でしょうか？浪速って
 どこですか？「大阪」そう大阪だね。秀吉は大阪に何
 を作ったの？「大阪城」そう、大阪城だね。大阪城は秀
 吉にとって何か？秀吉の一生を象徴的に表わす建物
 ですよ。つまり権力、財産、名誉、それを象徴的に
 表わしたのが大阪城でしょう。まさに、底辺から
 這い上がって行った訳ですよ。それで、掴んだ
 訳だよ。人生の成功者ですよ。だけど、その
 秀吉が死んで行く時に何て言ったかと言
 うと、「浪速のことは夢のまた夢」……まぼろし。
 生きて来たけど……一生懸命やってこれだけ
 の力を持って、結果は残したけども、果たして
 私の人生はどうだったのかなって言っている訳です
 よね。要はどういうことかと言つとね、死んでも
 死にきれないって言ってるんですよ。夢のような人生
 だから。本当はこの人生を生きた……ってものが欲しい訳
 ですよ。苦しくても悲しくても辛くてもね。どんな理不尽
 なことばあっても、あーこの人生を生きたんだと、ぞつぞつ
 意味では生まれて来て良かったんだと。もつと言つたらば
 ……死んで行けるってことですよ。死んで行けるような人
 生を生きているのか？死んで行けるってことは、生きて行
 ける人生を生きて来たからですよ。生きて行ける人生って
 どんな歩みなのかな？それがあやふやならば「まぼろし」。ま



ぼろし……というのは輪郭が見えなくなる。……ことは自分が生
 まれて来て、死んで行ったことが見えない。何のために自分は生
 まれて、何のために生きたのか。そのことを私たちは分からずに
 砂上の楼閣。表面的なことがばかり一生懸命にやってた。
 足元が疎かにほころぶぞと。……ということですよ。それが人
 間の姿だ……という訳ですよ。「それ人間の相」って書いてある
 でしょ。相は「姿」です。「それ人間の浮生なる相を……
 つら感ぜするに」……人間の姿をよくよく見れば、せつかく生
 まれて、生きてこの人生をまぼろしにしちや……る

よと。なぜか……言つと、それは人間が何だから？
 何て書いてありますか？そこに。人間の姿はど
 んな姿ですか？二文字で書いてありますよ。
 浮生……って書いてある。浮生……って何でしょうかね。
 生が浮いてる……ことは……宙に浮いてる……訳で
 すよ。宙に浮いた存在……何ですかね。足が無
 い人誰？……ゆつ……い……番長屋敷……じゃないで
 すか……でもこれは死んだ人の話じゃないね。私
 たちが……浮いてる……って訳ですよ。浮いてない……存在
 は、足が地につけています。浮いてる……ことは足が、地に
 ……ついてない。地に足が……ついてない……生き方……それがせつかく生
 まれて来たこの人生がまぼろし。夢のまた夢。死んでも
 死にきれない。要は愚痴と死と泣き……ことで死んで行か
 ざるやらない。せつかく苦勞したことも、せつかく努力したこ
 ともね。結局は水の泡になつてしまふ。そういう……ことがこ
 こに問いかけてある……訳です。みなみな自分が浮き足
 立ってる……か、地に足が……ついてない……と思つて……ない……です。自分

マズい箇所は全部黒く消されちゃって……だから豊洲も基礎がない。盛土がないです。(笑)黒闇と言います。私たちは全く見えてないんですよ。見えてると思ったり驕りになっちゃう。俺は分かってるんだ!!「ねエ……100ページ(赤本)を見てください。そこに「佛光照耀最第一」って書いてあるね。光は言葉ですね。そこから「行目」に「三塗の黒闇」って書いてあるでしょ? 私たちは黒闇だ、って言っている訳だ。それが光に出遇えば開かれる。言葉に遇えば開かれてくる。開かれるってことは見えてくるってことですね。なくなるってことではない。その次。その黒闇は私のところが作っている訳や。どんな風を作るかって言うと……三つって書いてある。「三塗」って書いてある。三塗って言葉、比喩さんは使われています? 普段あまり使わない? あるでしょう、「三塗の川」(大笑)あれは渡るもんじゃありませんよ。私たちはどっぷり浸るもんなんです、毎日。三塗って私たちが作ってる世界のことなめ。渡って行くもんじゃありません。私たちが煩惱のところが作っているんですよ。そこに「三塗の塗る」っていう字あるでしょ。塗るってことは「泥」っていう意味がある。泥は壁。土壁? 塗り込められている。つまり私たちの身につけていること。私と別にあるんじゃないくて、三塗は私の中にも: 壁に塗り込められているようにありますよってことですね。カラスは色を染めなくても黒い。サギは色を抜かなくても……白。それと一緒に。私たちの三塗という煩惱は塗り込められていますよ、と言っている訳です。じゃあ三塗って何ですかって言うところ三つですよ。「火塗」↓火、そして刀、そして血。火塗

刀塗、血塗と言います。一緒にどつどつ。「かずとろす、けつず」火。私たちのころを火に論じてます。これはボウと燃え盛る。私たちのころはコントロールが利かないってことです。腹が立つ時は腹が立つ。腹を立ててはいけませんよ。腹が立つ。あのヤロー……って思っちゃいけないけど何かがあると、あのヤロー……っていうころが出て来ますね。コントロール利かないですよ。死を目にすれば死にたくないと思っ。兄貴がなくなる時も、死にたくないと思いましたがね。不謹慎ですよ。だけど消えない。お袋が病気になると、アルツハイマーになって老いていく。あーこんな風になりたくないなって、不謹慎だけど出てくるね。コントロール利かないんです。何年か前だったかな。投書があつてね、自分の旦那さんが癌に成った。それで食べれないもんだから、病院食は美味しくないもんだから……旦那さんはうどんが好きだったんで。それで、うどんを煮てね。作って持って行った。って言うんですよ。でね、病気がから食べれないんだね。二箸三箸くらい食べて箸を置いたらいいだ。「もうこれ以上僕は食べれないから、君が食べなよ。」って言うって、うどんを渡されたんだって。そしたらね、奥さんがね、旦那さんが亡くなった後の投書に……そのうどんがね、食べられなかったって。なんで? 秘るんじゃないかと思つた。秘らなごですよ! 分かるけど生理的に食べられなかつた。……書いてありました。正直に書いてるなアと思つた。胸の内ですよ。他人には見せないから、私たちは自分だけは知っている。どんなに他人に嘘ついてもね、自分には嘘つきませんから。何でかって言ったら自分が嘘をついたって知ってるから。自分だけは。そういうもんですよ。たかろ何かあれば人間のころが出てくるんですよ。コントロール利か



なごです。何か見ればそれが欲しいというところが出て来る訳ですよ。デパート行けばね、すぐ欲しいものが出て来るんですよ。見れば、食べるものも一緒ですよ。あれば食べたに
と思つ。無ければ思ひない。無きゃイイね。無
 きゃイイけどあるからぬ。お坊さんだってね、煩惱が出て来るからさあ、コントロール利かない訳ですよ。だからどうしたかと言つてぬ、お寺を山の中に作ったぬ。昔は、真宗は違ひますけどぬ、煩惱と共にある人生ですから、修行をするところは、煩惱を無くして行くところという教えですからぬ。山の中にあるんですよ、お寺が。なんでかと言つと、行きたいと呑みたいとは思ひない。どういふものなんですよ。あれば出てくる……とつめが私たちの「性」です。本性です。善導さんという立派なお坊さんがおられました。「善導獨明佛正意」って正信偈に出て来ますでしょ？ その人はぬ、女性がいると顔を上げなかつたというんです。なぜかと言つとぬ、顔を上げて見ると男としてのところが出て来るから。だから顔を上げなかつたと言つて、なかなか難しいですよ。だから顔を上げなかつたと言つて、私たちは、つまり、縁があれば、どんなところにもなるってことですよ。「さるべき業縁」のもよおせば、いかなるにふるまいもすべし……縁があればどんなことでもしてしまつておしやる訳ですよ。だからそのついで境遇や環境の中に育つとぬ、やっぱり人を恨むところもぬ、当然のごとく出て来る訳ですよ。「火」……コントロール利かない。自分にイイものは受け入れられるけど、悪いものは受け入れたくないというところですよ。

う。排除するところですよ。正信偈の中に「一切善悪凡夫人」って書いてある。善悪。良いとか悪いで生きてる訳ですよ。人よりは上で、人よりは下は嫌だと思つて生きてる。そういう生き方ですよ。それが私たちの「火」……つまり煩惱のところですよ。それは「刀」です。切るんですよ、人を。切り捨てていくから。嫌なものは切り捨てる訳ですから。自分の一番近い人でも、自分の都合が悪くなると切り捨てる訳ですから。国においても、民族においても一緒ですよ。自分たちの考えに合わないものは、皆切り捨てていくんですよ。そういう恐ろしい私たちの中にはあります。だから当然のごとく、そこには争いが起る。争いが起るといふことは、傷つけ合つていく人生だから……「血」火塗、刀塗、血塗って言う。他人の話じゃない。私たちがこの身に持っている姿。それを表わして下さってる。それを三塗と言います。塗る……塗るの意、味です。もう一つぬ、三塗って言葉には字が違つて言葉があるんですよ。「三途」……これでも「さんず」です。これはどついつの意味かとつと……さっきは泥でしたぬ。こっちは「道」です。どんな道かという、私たちが生きて行く道。自分の人生の道。地に足がつかない道。その道はどんな道かと言つと、基礎を失つた道は地獄をつくる。地獄の道です。そしてこの目は、餓鬼の道になる。餓鬼道。この目は、畜生道。皆道ですよ。これを仏教の伝統的な言ひ方だと「三悪道」と言います。「一緒」にどうぞ。「さんまぐどう」地獄道、餓鬼道、畜生道と言います。私たちが地獄をつくらせてるんですよ。どこかにあるのではなく、私たちが私がつくらせてるんですよ。毎日、家の中でも地域でも、国との関係の中で

もぬ。地獄をつくってるんです。地獄って何かと言うと、げものへんにことばを書いて、犬って書くんやぬ。ワニちゃんがいるでしょ。こつちにもワニちゃんがいるんですよ。

でどうなるかと言うと……こつちのワニちゃんかワニワニと吠えてる。と、こつちのワニちゃんもワニワニと吠えてる。で、絵が……「獄」という字の語源です。ワニワニ……これは自己主張してるんです。オレは正しいぞおー……で、どういふ時には相手の言うことは聞こうとしないぬ。だから一方的。



で、こつちもぬ、オレの言うことは正しいんだ……って言ってぬ、お互いが原理主義だね。ぶつかるんですよ。ガチニコするんですよ。で、ガチニコすると何が起るんですか？争いが起る。争いって言うのは人間にとって一番の不正ですよ。正しいことなのに不正になってる。正しいことではなく、正しいこと(思)に込んでいるところぬ。それがぶつかり合うんですよ。まあ、良い例が、近頃で言うところ、トランプとクリントンかな。ア。(笑)あれは何ですかぬ。あれは何なんだらう。あれがアメリカの大統領を決めていくんですからぬ。2人とも気がつかないんだらうぬ。お前はこんなことしたじゃなにか……と、お互いに言い合って、絶対その議論から外れないで、徹底的にやり直しますよぬ。アメリカなんだぬ、あれがぬ。何を表わしているかと言うと、強さですよ。つまり相手に対してどんな状況でも強くなきゃならぬってことですよ。ちよつとも怯んだらこの人は大統領の資質がないってことじゃありませんか。世界中の国々と外交する時に怯むとぬ、弱腰外交なんて絶対に許されない訳でしょう。だから、強く強く強くなってぬ、強さを前面に出して、マツキョマツキョで行くんでしょうぬ。

けど、なんかぬエ、人間の繋がりがあって相手を打ち負かして、それで強くなれば良いって話じゃないでしょう。政治ってやりぬエ、人間の話じゃないですか。勝ち負けを超えた人間の姿があるでしょう。そこにぬ、人々を思いやるような、本當の意味での政治的発想が生まれてくるんじゃないですかぬ。まあ、そんなことを思わせられまますよぬ。地獄は私たちがつくってるんだぬ。で、餓鬼は欲望です。欲しいところは無いから、餓鬼のごとく。つまり全身が痩せ細ってお腹が出てる姿なんです。食べても食べても栄養失調。何を表わしているかと言うと、我々が欲しいところ、これは際限が無いと。どこまで行ったって欲しいところ、これは消えたいと言いますよ。国を取ったとしても、なお欲しい……訳だよ。そういうこと、私たちの姿としてあるということですよ。で、この2つを合わせてどうなるかと言うと、人間が人間で無くなるから畜生。畜生のことを、傍生と言います。二緒にござぬ。「ぼうしやう」生をかたわらにすると言書く。かたわら、自分が中心にむらう、自分以外は……かたわらです。経済が中心になれば、それに外れている人間はかたわら。健常者が中心ならば、障害者はかたわらです。かたわらって言うのは、価値が無いってことです。自分の考えていることには価値はあるけど、それと違うものは価値が無いってことですよ。かぬ。そういう考え方ですよ。それかぬ、今の言葉で言うところ、優生思想だぬ。二緒にござぬ。「ゆうせいしやう」優れているものに意味があると。時代の価値観が違いうから。時代によって違ってくる。戦前・戦中の優れているものと、現代では価値が違いう。現代は経済中心だから。経済において力と結果を残せる人は価値があるけど、それから外

れていく人間は価値がないということですね。そこに人が育
てられていくという視点は無い訳です。民族においてもね、
国においてもね、自分たちは中心で他は外たわらだっ
ていう意識がある訳です。人間には。アジアの中心は日本
だ。日本以外のアジアの人たちは。かたわらに。なる訳
や。中国は中国の漢民族が中心だ。と言うと、他の少数
民族は皆、かたわらになる。差別が出てくる訳ですよ。
優生思想でね、近年本当に悲惨な事件が起こり
ました。それは。ヒトラーはね、ゲルマンは優れているけ
れども、ユダヤはかたわらだと言った訳ですよ。で、生き
ている価値が無い、意味が無いと。生きていくことにおい
て自分たちの仕事は奪われ、自分たちのゲルマンの
尊厳が傷つけられるから、いる意味が無いって言うて、
大量殺戮していった訳です。その前にヒトラー率いるナ
チズドイツはね、何をしたかと言うと、障害者の人たちが
虐殺しましたね。沢山の方がなくなりました。そういうこ
とに影響を受けている人は沢山いる訳です。で、そうい
うことに影響を受けた人がこの前、相模原で障害者
施設を襲って、何人の方が殺害されました。覚えて
いらしゃいますよね。あれはまさに優生思想だね。つまり身体
が動かせない、自分で意思表示出来ない、困り全部が金
出してやってもらってる。税金の無駄遣い、そこに生きる意
味は無いと言ったんですよ。彼みたいなことはしないかもし
れないけど、どこかで私たちはそういうものを持っている可
能性もある訳ですよ。だからね、あの形で彼は奥行に
秘したんだけど、要はね、私たちが持っている優生思想

の表われです。人間というのはそういうものを持ち合わせて
生きていく。だから私たちがいうのはね、縁があったら何
するかわからない。教育を受けるんだって、その内容に
よっては何をやるかわからないですよ。戦前・戦中の教
育を受けたらあんなるし、北朝鮮の教育を受けたら
あんなるしね。中国の共産党の幹部の人たちの教育を
受けたらあんなる訳ですよ。誰もがあんなって行んで
す。だから非常に私たちがいうのはね、危ういものを持
っている訳。だからいつも間いがなきやむんない訳ですよ。
生きて行く中で、これでイイってことは無いんです。これでイ
イと思った時がとも危ない。これでイイって言う時は危
ないですよ。持棋の大山康晴って人がいたでしょ。あの入
ぬ、これでイイんだって思った時が危ないと言っていました。
うまくいってる時が一番危ない時です。悩んでる時
がイイって言うてましたね。でも悩んで悩み過ぎてね、
パソコンに頼ったらあんなけどね。私たちがそのまんま
ですよ。気づかぬけど、うまくいっている時はちょっと気をさ
けた方が良いいね。最初に本質と言いました。何を表わし
ているのか。願いと云いました。それは何かと言おうとね、
阿弥陀っていう言葉自身に願いがあがる。阿弥陀って
方がどこかにいる訳じゃない。願いを表わし
ている言葉です。「本願」と云います。
その願いの言葉の根幹は何かと言
うと。それを墨鏡(どんぐら)って言う人が
るつつの文字で言いました。「無等
等」と云います。二緒にどうで。



「おとうとう」阿弥陀イコール無等等。無等等に帰命せよと言っている。帰命は帰る。イコール南無。南無という言葉のは帰命、帰れことだね。正信偈の1行目には、「帰命無量寿如来」イコール「南無阿弥陀佛」イコール「無等等に帰命せよ」阿弥陀イコール無等等。等しくないけど、等しい。皆、違うけど……この世の始中終。生まれて、生きて、亡くなっていくのちはかけがえが無い。どの時代にも生まれようと、どの土地にも生まれようと、どういつ文化であろうと、どういつ風土であろうと、どういつ能力を持っていようと、どんな人も本来は一人一人かけがえが無い。だから、違うけども等しい。ということが私たちの基礎。私たちの基盤。私たちの原点。私たちの根源。それを我々は失って生きている。だから仏教の教えが生まれてくる。深い痛みと悲しみを持って生まれて来た。それは人間の痛みですね。三途が気がつかない、人間の痛みです。そう言えてイイと思いますよね。人間の深い痛みを阿弥陀という言葉で表わした。だから如来大悲と言おう。大悲無倦常照我（赤本29ページ）と言おう。大悲。大きな悲しみ。それを念仏と言おう。念仏のころはここにある。そして誰もかそのおころに融れながら、この自分という存在を、あるいは時代というところを見つめながら生きる訳です。何か問題なのか。ということも、問いを共有しながら生きる。そのことが救いですね。ともに悩めることが救い。そういつことですね、お示してくださってるんで



すね。この前、新聞見てたら、ベトナムの人が投書しておりましたね。ベトナムのユッティノンハンさん28歳。日本語学校の生徒って書いてあるね。去年の7月にベトナムから来ました。日本人は優しいイメージでしたが、コンビニでアルバイトをしていると、日本人のお客さんは怒りやすいと感じます。例えば、レジで接客している時、お客さんが増えて行列が出来ると、1分も経たないうちにイライラしている。気持ちも伝わって来ます。待たなくなったね、私たちは郵便局行っても、銀行に行ってもね、ちょっと待たただけでイライラしてね。耳が痛いんですね。お客さんの声が聞こえてなくて、2回聞き返した時も怒られました。日本ではお客様は神様です。そして皆、私はお客様だ、と思ってお店の人が厳しくなります。私はお客様だ、と言った時に私は神様だ、って言うことだね。お金を稼ぐために働かないとけないのは誰でも同じです。なんで他の人の頑張りに優しくしてあげられないのしょうか。もっと思いやりを持って、もう良いんじゃないのしょうか……って言うってらこやるね。皆さ、待つことが出来なくなりました。大人から子供から。年配者まで。ギスギスしますね、待たないもんやから。電卓車が遅れても待たないもんですから、駅員を怒鳴るんですよ。この頃。この前、近鉄の若い車掌さんがパニックになって、高架から飛び降りたじゃないですか。あれよ。ぼんやりしたんです。乗客から。大阪弁で。人身事故だからどうにもならないじゃないですか。私たちはなかなか難しいですね。速くなって便利になっただけでも、イイ時代になった

かもしれないけど、人間としての何か大事なことが、そこで失われてしまっていると。そのことに残念ながら気づかずに……。もう一つ、10年くらい前のことである。勤務していた病院で、患者さんの名前前に「様」をつけて呼びましようということになった。世の中の流儀がそうだったのだ。つまり、患者さんから患者様。なんか気持ち悪いね。呼び方を変えた後、一部の患者さんの態度に変化が表われた。どう変わったかと言うと、横暴になり、スタッフへの暴言や暴力、セクハラまで行なわれはじめたと。医療はホテルのようなサービス業とは質が異なるのだから、権力で呼びぶ必要はないのでは……という議論の末、従来通りの「さん」に戻した。すると患者さんに再び変化が現われ元に戻った……と書いてある。日本のサービス業は素晴らしい。お客様は神様のような対応を受けることが多い。客としては、知らず知らずのうちに態度が横暴になっ ていき易い。客対スタッフである前に、人対人である。人として向き合い、気持ち良い関係を築いて行きたらと思いが、いかげなものだろうか……って書いてあったね。これは時代の問題だね。時代の問題ですよ。どう思う。誰々の問題じゃないね。この前も、ファミリールレストランに行った人がね、「金払ってんだから」馳走様なんて言う必要ないって言ったっていいんですよ。金払ってんだから……金払ってる方が上。経済的に金を持っている方が上。という価値観だよ。だからこの頃は小学校でも子供たちにはね、お子様こつつけるんですよ。お子様って、子供に

お子様。お子様こつつけたら教育出来ないね。お子様の向こうに誰がいるの？ 親御様……（笑）親御様が金を出してくださってる訳や。それで先生たちは給料をいただいて、生活してる訳でしょ。親御様の言うことが絶対だろうね。その子供だから。もうお客様。もう教育じゃなくなるね。本当の意味で教育じゃなくなる。どんなに偏差値高い学校かもしれないけど、人間教育は出来ないよ。私、幼稚園の先生たちと月に1回勉強会してるけどもね。幼稚園で学習会すると頭が痛いって言うんですよ。なんで……って言う、必ずクレームが来ると。何のクレームかって言うのね……なんでウチの息子は主役じゃないんですか！（あし）なんでウチの娘はこんな役なんですか！！って。もう配役にクレームが来るそうなんです。だから大変だって言ってます。どの子も主役になるように、短い役をいっぱい作るようにしてます……そんな風にしないとならぬんですよ。モンスターペアレンツ。なんでも自分の要求することが正しいんだ……と言うことでしょうか。国家においても民族においても、企業においても、私たちの地域や家族、家庭においても縮図は一緒。そこに人間の共通する土台、根源、本質。そのことを私たちにどうなのかな？と云って呼びかけて来る世界が、南無阿彌陀佛です。本来の基礎は何かって言うのと、無等等。だけどそれに背く私たちがいる。背くというのに対して深い痛みを持って欲しい。そういつか、呼びかけられていると云って良いのではなんでしょうか。はい、ちよとオーバーしましたけど、一年に1回ですからお許しください。これで私のお話を終わりたいと思います。有り難うございました。

（おしま）

高德寺 報恩講 法話

^{かい}海 ^{ほう}法 ^{りゅう}龍 先生

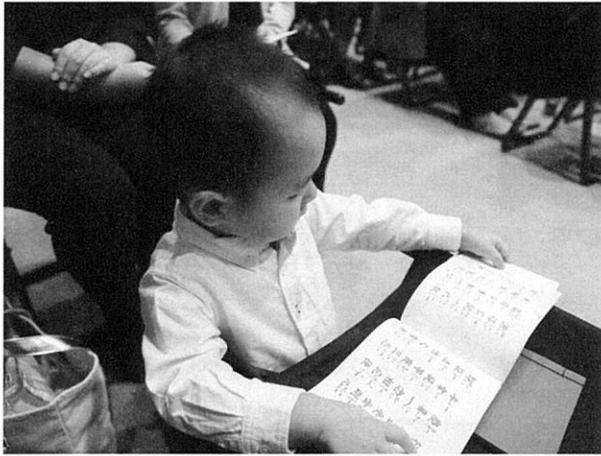
2016年 10月22日

(文責 高德寺住職 新井 義雄)





あること難しの
おかげさん
です



光ミウ炎エン王ウ佛フツとなづけたり

佛ゴ光ミウ照シウ曜ヨウ最サイ第ダイ一イチ



大ダイ應オウ供クをク歸キ命メイせよ

三サン塗ブの黒ク間アンひらくなり

(赤本 100 ページ)



夫人間の浮生ふしやうなる相さうをつらく観かんするに・おほよそはかむきものはこの世の始中終しちゆうじゆうまぼろしのごとくなる一期いちごなり・さればいまだ萬歳まんざいの人身ほんじんをうけたりといふ事をきかず・一生いっせいすぎやすし・いまにいたりてたれか百年の形骸ぎやうたいをたもつべきや・我われやさき・人やさき・けいともしらずあすともしらず・おくれさきだつ人は・もとのしづくす露あせよりもしげしといへり・されば朝あさには紅顔こうがんありて・夕ゆふには白骨はくこつとなる身なり・すでに無常むじやうの風きたりぬれば・すなはちふたつのまなこたちまちにとぢ・ひとつのいきながくたえぬれば・紅顔こうがんむなく變へんじて・桃李たうりのよそほひをうしむひぬるときは・六親眷屬ろくしんけんぞくあつまりてなげきかむしめども・更さらにその甲斐かいあるべからず・さてしもあるべき事ことならぬばとて・野外がいにをくりて夜半よるのけふりとまはしてめれば・ただ白骨はくこつのみぞのこれり・あはれといふも中々なかなかをろかななり・されば人間のじんげんはかむき事は・老少不定らうしうふじやうのさかひなれば・たれの人もはやく後生ごせいの一大事いちだいにじを心にひけて・阿彌陀佛あみだぶつをふかくたのみまいらせて念ねん佛ぶつまうすべきものなり・あなれしこ

※「御文」は本願寺第八代・蓮如上人(1415〜1499)のご製作で、門徒への手紙を集めたもの。その中の一つ。

発行日 2017. 3. 17

《表紙の絵》

発行 真宗大谷派 高德寺

『お釈迦さま』

編集 住職 新井義雄 (法名: 釋義祐)

高德寺 〒164-0002 東京都中野区上高田 1-2-9

☎ 03-3368-6947 FAX 03-3362-8019

◆ 今回の別冊も 鮮明堂印刷(株) 藤井清三様のご厚意で発行することが出来ました。この場をかりて御礼申し上げます。